

地図で読み解くマップエンターテインメント

『トリセツシリーズ』に

「名古屋市」版が新登場!!

2025年
3月下旬
発売予定

地図で読み解く都市の物語

全16区の
ガイドつき!

名古屋市のトリセツ

名古屋城の
築城と
黒川開削の
秘密

地殻変動で
名古屋は
西に傾いて
いる?

消えた
貨物路線や
新幹線車両
基地の謎

「大名古屋」
誕生と
戦後復興の
道のり

昭文社

▲名古屋市のトリセツ

定価：1760円(税込) B5変型判/112ページ

▲愛知のトリセツ(既刊)

定価：1540円(税込) B5変型判/128ページ

東海

大昔の名古屋エリアは東海湖という湖のなかつた？

約550万年前、伊勢湾や濃尾平野の広いエリアは、移動する巨大湖があった。星洲湖と呼ばれる湖の堆積した土壌は、中部地方の主要産業である養蚕にも使われていた。

650万年前にはあった星洲湖
日本列島が形成されたのは約1500万年前。しかし、その後約1億年程度は地殻変動が激しく、東海湖という巨大湖が形成された。約650万年前には、東海湖は約4000km²の面積をもち、湖底は現在よりも約100m低い位置にあり、約600万年前には存在していたと考えられている。

星洲湖の形成は、濃尾平野の隆起、砂礫堆積などによる。この隆起は、約500万年前の地殻変動による。約500万年前に、東海湖は約4000km²の面積をもち、湖底は現在よりも約100m低い位置にあり、約600万年前には存在していたと考えられている。

加土層を生んだ星洲湖
東海湖の形成は約550万年前。中央構造線（名古屋～九州）の断層活動に伴って発生した。この断層活動により、東海湖は約4000km²の面積をもち、湖底は現在よりも約100m低い位置にあり、約600万年前には存在していたと考えられている。

東海湖堆積層の分布



東海湖の堆積層は、地質学上の重要な手がかりとなる。約550万年前に形成された湖底の堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

▲地図で読み解く名古屋市の大地

かつて名鉄築港線と平行してリニアの実験線が走っていた!

リニア中央新幹線が走るリニア東海線（HSST）は、愛知県内で二回に分けて開業している。そのルートは、名古屋駅南側の名鉄築港線が長らく続いていた。

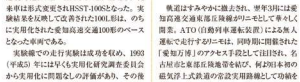
リニアが利用するHSST
東海湖の堆積層は、約550万年前に形成された。この堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

リニアが利用するHSST
東海湖の堆積層は、約550万年前に形成された。この堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

リニアが利用するHSST
東海湖の堆積層は、約550万年前に形成された。この堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

リニアが利用するHSST
東海湖の堆積層は、約550万年前に形成された。この堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

リニア東海線建設の周辺



リニアが利用するHSST
東海湖の堆積層は、約550万年前に形成された。この堆積層は、現在でもその一部が地中に残っており、地質学上の重要な手がかりとなる。

▲名古屋市を駆ける充実の鉄道網

千種区

人口	163,572人	面積	24.8km ²
人口密度	6,600人/km ²	自治体	千種区
人口増減	+18,184人	人口増減率	+12.3%
人口増減率	+12.3%	人口増減率	+12.3%

千種区は、名古屋市東部の一行政区画。1992年（平成4年）に、昭和区を分割して設置された。区名は、千種川に由来している。

北区

人口	169,856人	面積	41.7km ²
人口密度	4,073人/km ²	自治体	北区
人口増減	+17,514人	人口増減率	+10.3%
人口増減率	+10.3%	人口増減率	+10.3%

北区は、名古屋市東部の一行政区画。1992年（平成4年）に、昭和区を分割して設置された。区名は、千種川に由来している。

東区

人口	483,567人	面積	139.2km ²
人口密度	3,473人/km ²	自治体	東区
人口増減	+57,114人	人口増減率	+11.8%
人口増減率	+11.8%	人口増減率	+11.8%

東区は、名古屋市東部の一行政区画。1992年（平成4年）に、昭和区を分割して設置された。区名は、千種川に由来している。

西区

人口	174,836人	面積	113.5km ²
人口密度	1,540人/km ²	自治体	西区
人口増減	+19,814人	人口増減率	+11.3%
人口増減率	+11.3%	人口増減率	+11.3%

西区は、名古屋市東部の一行政区画。1992年（平成4年）に、昭和区を分割して設置された。区名は、千種川に由来している。

▲名古屋市全16区ガイド付き!

地形・交通 歴史・産業…、それぞれのジャンルから地元市民もあまり知らない読み応えのある初耳秘話をえりすぐって解説!!

江戸期 経済改革の立役者は「かぶき藩主」の徳川宗春

幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

享徳時代(部分)



江戸期の経済改革は、幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

江戸期の経済改革は、幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

江戸期の経済改革は、幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

江戸期の経済改革は、幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

江戸期の経済改革は、幕府が藩政に力を入れた時代。尾道藩では「かぶき藩主」徳川宗春が、新米経済政策を打ち出した。7代藩主「若狭の徳川宗春」に注目しよう。

▲名古屋市中で動いた歴史の瞬間

約400年前に開削された庄内用水の流路変更と今

戦国時代の開削。名古屋の発展を支えてきた庄内用水。その成り立ちや流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水



庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

庄内用水は、戦国時代の開削による。名古屋の発展を支えてきた。その流路の変更が、今でも残っている。

▲名古屋市中で生まれた産業や文化

注文書

名古屋市東部のトリセツ

ISBN978-4-398-14857-5 定価:1760円(税込)

愛知のトリセツ

ISBN978-4-398-14806-3 定価:1540円(税込)

商品名	ご注文数	貴社番線印
部		
部	ご注文日:	年 月 日

ご注文 昭文社 FAX 03-5166-3400

ホームページから注文書をダウンロードできます! <https://sp-mapple.jp/forstore/> 昭文社 書店のみなさまへ